

1. 研究室概要

大学名	青山学院大学		研究者	浅野 裕俊
			職位	助手
研究領域	生体計測による感性情報処理の研究		窓口担当	研究支援ユニット 中村新一
研究キーワード	感性情報処理、生体計測、感性ロボティクス、皮膚温度			
住所	〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1			
電話	042-759-6240	E-mail	snakamura@aoyamagakuin.jp	
FAX	042-759-6241	URL	http://rawebjm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kojinId=ggic	

2. 技術PR事項

『生体計測技術を駆使して感性情報処理技術の向上を目指します』

人間の生体計測技術を高めることで生体制御・支援を行うHMI(Human Machine Interface)研究を進めると共に、生体感情を模倣した感情誘起行動モデルの研究や皮膚血流量変化による一過性覚醒度検出技術の研究を行っています。

1. 概要

<研究内容>

◇感情誘起型エージェント群による行動創発と群制御の研究

人間の感情を模倣した感情誘起行動モデルで、細かな情報をロボットに与えず群の挙動を制御する研究を進めています。心の癒し・娯楽性を重視する愛玩ロボットが人間と協調する制御へ応用します。

◇皮膚温度・皮膚血流量による一過性覚醒度検出技術の開発

情動を引起す因子は情動ストレスと呼ばれます。情動ストレスに起因して、交感神経系作用で抹消血管は収縮し血流量が減少します。鼻部には上動脈吻合血管が皮膚直下に多数存在するため、情動ストレスに起因する血流量変化が皮膚温度に顕著に表れます。この変化を利用して、皮膚温度及び皮膚血流量変化による一過性覚醒度検出技術の開発を進めています。

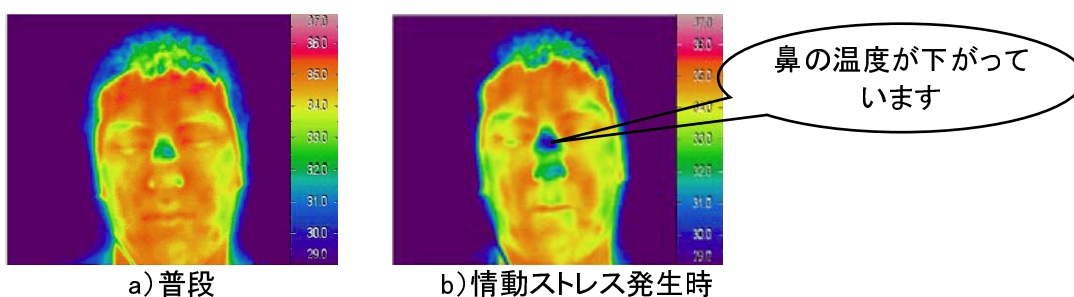


図. 顔面皮膚温度の変化

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

◆生体を利用した情報処理に関することや人間の感情、ストレスなどについての共同研究を希望します。

また、それらのご相談に応じます。

3. 特記事項

●代表論文: 浅野 裕俊, 坂本 直樹, 井出 英人: 顔面血流によるドライバーの一過性覚醒度低下の評価, 電気学会論文誌(C), Vol. 130, No. 1 pp.133-138, 2010